

# 区民から遠い病院に!?

## 110億円も税金を投入したのに…

昭和大学 江東豊洲病院



**区民や議会にも  
事前の説明が  
行われていない**

昭和大学江東豊洲病院は、江東区が東京都から40億円で購入した土地を無償貸与した上、建設費についても総額の半分。75億円も補助して、昨年3月に移転新設されました。

莫大な区民の税金を投入しておきながら、区民のかかれぬ病院になってしまったことは、あまりに不合理で、区民からも「おかしいのではないか」との声が寄せられています。

こうした事態になることについて、区民や議会にも事前には、説明されませんでした。区は、「高度医療を担う3000床の大学病院として開院する等の概要を説明してきた」などと答弁して

いますが、具体的説明は行われておらず、まったく納得出来るものではありません。

**豊洲クリニックでの小児科再開について**

また、移転新設と同時に入社して、昭和大学付属病院が豊洲クリニックで行っていた小児科が無くなってしまったことも深刻な事態を広げています。

南部地域では、大規模マンションが次々と建設され、子どもの数が引き続き増加しています。

豊洲のある小児科では、7時の予約開始なのに7時03分には、その日の予約がいっぱいになってしまいう状況で、お母さ

帯は1200世帯を超える状態が続いています。さらに、保険料滞納による預貯金や生命保険の差し押さえも年々増加し、平成22年度の26件から平成26年度は355件と約14倍にもなっています。今後、安倍政権が強行した医療改悪によってさらなる保険料の値上げや徴収強化が予想されます。

**高すぎる国保料は引き下げを**

国民健康保険制度は、

日本共産党区議団は、南部地域の小児科不足についての区の認識を質すとともに、昭和大学に対し、豊洲クリニックでの内科・小児科の一般外来の再開を求め、医師会とも協力し小児科の誘致を行うことなど、区としても対策をとるよう求めました。

莫大な税金を投入した以上、区としても昭和大学病院江東豊洲病院に対し、しっかりと区民の声を伝えていく責任があります。また、区民の命と健康を守るのは自治体の大事な役割です。引き続き改善を求めていきたいと思えます。



国保料の相談に訪れる区民

国民健康保険料の納付通知書が各家庭に届き、江東区に「保険料が高すぎる」「計算が間違っているのではないのか」など、2千件を超える抗議や問い合わせが寄せられています。

今年度の国保料は、算定方式の変更に伴う保険料値上げを抑えるため、収入は変わらないのに、月々の保険料が5年前と比べて1万4千円も負担が重くなりました。

国保料は、15年以上毎年値上げされています。高い保険料が払えない世帯は約2万5千世帯、そのうち1年以上滞納し、病院の窓口で全額負担となる資格証明書の発行世帯は1200世帯を超えています。

江東区がため込んだ区民のお金90億円のうち、年間13億円活用すれば、一人1万円保険料を引き下げることが出来ます。

日本共産党区議団は、減らされた国や都の支出金を元の水準に戻し、高すぎる保険料を引き下げることや、保険証の取り上げや強権的な差し押さえは中止するよう求めています。

医療保険における国民皆保険制度のセーフティネットです。

江東区がため込んだ区民のお金90億円のうち、年間13億円活用すれば、一人1万円保険料を引き下げることが出来ます。

日本共産党区議団は、減らされた国や都の支出金を元の水準に戻し、高すぎる保険料を引き下げることや、保険証の取り上げや強権的な差し押さえは中止するよう求めています。

# 国保料が高すぎて払えない

## 区民から悲鳴続々

どんなことでもお気軽にご相談ください

### 生活・法律相談案内

あいさしお順



**赤羽 目たみお**  
区議会議員  
江東区石島九一五  
☎五八六五一一一五六  
第2水曜・午後6時半



**大つき かおり**  
区議会議員  
江東区枝川一六一一三  
☎三六四五一一七六四  
第4木曜・午後6時半



**きくち 幸江**  
区議会議員  
江東区大島一三七一六  
☎三六八五一一七八四  
第3木曜・午後6時半



**正保 みさお**  
区議会議員  
江東区北砂四二四一  
☎三六四〇一四三七六  
第3木曜・午後6時半



**すがや 俊一**  
区議会議員  
江東区大島五一四八一〇  
☎三六八三一一〇七四五  
第4木曜・午後7時



**そえや 良夫**  
区議会議員  
江東区東砂七一〇一二四  
☎五八三一一八八八五  
第3金曜・午後7時



**山本 真**  
区議会議員  
江東区東陽一六一一九  
☎三六四四一一七九〇  
第2木曜・午後6時半